

地域総がかりで取り組む キャリア教育支援

大阪におけるキャリア教育支援活動

JILPT 労働政策フォーラム
平成21年10月14日

大阪キャリア教育支援ステーション
大阪商工会議所

大阪におけるキャリア教育支援活動

- ・ 大阪キャリア教育支援ステーションの
設立
- ・ 主な支援活動
- ・ 地域総がかりでの連携体制の構築
—— 教育委員会との連携

・大阪キャリア教育支援ステーションの設立

背景～なぜ大阪商工会議所がキャリア教育に取り組むようになったか

大阪商工会議所、(社)大阪工業会 「提言:モノづくりのためのヒトづくり」 (平成15年3月)より

「モノづくりのためのヒトづくり」をめぐる3つの危機感(抜粋)

【危機感1】 産業競争力の低下

- ・人材、特に企業に入社してくる若者たちの能力低下
- ・産業を担う人材育成のグランドデザインの必要性

【危機感2】 技能・技術力の低下

- ・若者・社会全体の理数科、製造業離れ

【危機感3】 人材育成のミスマッチ

- ・供給サイドの教育界と需要サイドの産業界のミスマッチ
- ・産業界の変化
- ・教育界の課題

大阪キャリア教育支援ステーションの設立

背景～なぜ大阪商工会議所がキャリア教育に取り組むようになったか

(平成10年頃からの動き)

【子ども・若者たちの状況】

- 学ぶ意欲、学力の低下
- ニートなど職業観の未成熟、就業意欲の低下

産業競争力、社会の活力に重大な影響

【キャリア教育の導入】

- キャリア教育(生徒一人ひとりの「勤労観、職業観」「生きる力」を育てる教育)の学校への導入
- 「学ぶこと」「働くこと」を関連付けるキャリア教育には産業界との連携が不可欠

社会全体が一体となってキャリア教育に取り組む必要性

大阪におけるキャリア教育支援拠点の設置を

大阪キャリア教育支援ステーションの設立

大阪商工会議所の具体的な取り組み

1. 企業が求める若手人材像調査の実施(H16年5月)

“企業が求める若手人材像”を探るために

→ 人事部長111人、若手社員895人にアンケートを実施

- | | |
|--------|--|
| 【対 課題】 | <ul style="list-style-type: none">・本質を見極め、自ら課題を発見している・変化にスピーディーに対応している・困難にくじけず、最後までやり抜いている |
| 【対 他者】 | <ul style="list-style-type: none">・摩擦や競争を避けず、自分の考え・意見を伝えている・人に関心があり、世代や価値観を超えてコミュニケーションをしている・組織の一員として役割を果たしている |
| 【対 自己】 | <ul style="list-style-type: none">・専門分野・得意分野で強みを発揮している・積極的、継続的に学び、自分の市場価値を高めている・目標を高く掲げ、誠実に努力して達成している |

大阪キャリア教育支援ステーションの設立

大阪商工会議所の具体的な取り組み

2. 大阪におけるキャリア（職業観養成）教育の推進 に向けた産業界からの提言（H16年10月）

○大阪の教育界、行政、産業界等が協力して、「社会的体験」を通じて能力を育てる「キャリア教育」を支援する拠点の設置を提唱

3. 大阪におけるキャリア教育推進委員会の設置 (H17年2月)

大阪府・市両教育委員会、府・市、教育関連シンクタンク、企業、経済団体から構成する委員会を設置し、大阪におけるキャリア教育の方向性について議論

大阪キャリア教育支援ステーションの設立

大阪商工会議所の具体的な取り組み

大阪におけるキャリア教育推進プランの発表（平成17年6月）

「大阪におけるキャリア教育推進委員会」の議論をまとめプランを作成

タテ、ヨコの連携を軸に教育界、行政、産業界等が連携して社会全体でキャリア教育を推進する「大阪キャリア教育支援拠点」構想を発表



平成17年7月19日

「大阪キャリア教育支援拠点運営協議会」を設立

「大阪キャリア教育支援ステーション」の活動を開始

大阪キャリア教育支援ステーションの設立

大阪キャリア教育支援ステーション

- ◆設立 平成17年7月19日
- ◆組織 大阪キャリア教育支援拠点運営協議会(任意団体)
 - 会長 : 野村明雄 大阪商工会議所会頭
 - 副会長 : 中西正人 大阪府教育委員会教育長
 - 永井哲郎 大阪市教育委員会教育長
- ◆賛助会員数 法人 97社 個人 36名 (平成20年度末現在)

★大阪キャリア教育支援ステーションが目指すもの★

- 教育現場のニーズに応え、学校外からの支援、協力を提供する。
- 社会全体でキャリア教育を推進する機運を醸成する。

・ 主な支援活動

学校現場のニーズにこたえる活動を中心に

1. 社会人講師の紹介 ☆

(対象) 小中高校生、教員、保護者

2. 職場見学・職場体験・インターンシップの受 入先紹介 ☆

(対象) 小中高校生、教員

3. キャリア教育に関する情報提供

4. キャリア教育啓発活動

5. 教育委員会との連携事業 ☆

・ 主な支援活動

1. 2. 社会人講師、職場体験・インターンシップ 紹介

() : 平成20年度実績

	社会人講師	職場体験 インターンシップ
児童・生徒	○ (17校へ32名)	○ (15校41社・団体)
教員 (教育委員会)	○ (12名)	○ (長期5社、短期11社)
保護者・地域等	○ (5件)	

・ 主な支援活動

3. キャリア教育に関する情報提供

(1) 企業向け職場体験受入手引書の作成・発信

<http://www.career-osaka.jp/manual/>

目的 : 受入企業を拡充し、教育現場への支援を充実

内容 :

- 小中高校別に構成
- 各々の段階での職場体験・インターンシップの目的、内容を説明
- 企業が職場体験学習を実施する場合の、準備、段取り等実施方法を説明



・ 主な支援活動

3. キャリア教育に関する情報提供

(2) 全国のキャリア教育関連プログラム「キャリア教育ナビ」の作成・発信

<http://www.career-osaka.jp/navi/>

○全国で企業、団体、NPOなど学外から提供されている
キャリア教育関連プログラムを「職業観・勤労観を育む
学習プログラム」の4領域8能力に
基づき整理

○プログラム名、利用学年、育成能力
などで検索できるサイト



・ 主な支援活動

4. キャリア教育啓発活動

(1) 社会全体に向けた啓発活動

7月21日 (平成18年)	「いま、なぜキャリア教育か」 ○働くことと出会うこと 重松 清氏 ○いま、なぜキャリア教育か リクルートワークス研究所所長 大久保幸夫氏他	<対象> 教育界 産業界 保護者・地域
2月14日 (平成19年)	「企業が子どもたちに伝えたいこと」 ○企業とキャリア教育のかかわり 大和ハウス工業会長 樋口武男氏 ○企業とつくるキャリア教育 シャープ、デサント、読売新聞	教育界 産業界
3月18日 (平成19年)	「ビミョーな未来をどう生きるか」 東京都杉並区立和田中学校校長 藤原和博氏	教育界 保護者・地域
7月27日 (平成19年)	「ヤル気を引き出す教育とは～キャリア教育の役割」 明治大学教授 斎藤 孝氏他	教育界 保護者・地域

所属・役職は当時のもの

・ 主な支援活動

4. キャリア教育啓発活動

(2) 産業界に向けた啓発活動

11月5日 (平成20年)	「企業も共にキャリア教育」 ○キャリア教育！社員が喜び、社会が喜び、企業が喜べる！かかわり方 清川メッキ工業常務取締役 清川 卓二 氏 ○企業の教育支援活動を価値ある内容に高めるために<ワークショップ>
3月10日 (平成21年)	「キャリア教育は社会人教育」(その1) ○キャリア教育は、新しい自分との出会い 西島製作所キャリアデベロップメント課長 吉川 友子 氏他 ○若手社員のキャリア開発と学校支援を考える<ワークショップ>
8月20日 (平成21年)	「キャリア教育は社会人教育」(その2) ○職場体験の機会を活用した社員教育の仕組みづくり 佐川急便人事部・安全管理部 人事課 課長 大越 康成 氏 ○職場体験を活用した社員のキャリア開発を考える<ワークショップ>

所属・役職は当時のもの

- ・ 主な支援活動

5.教育委員会との連携事業

(1)大阪府教育委員会

○平成17～19年度 キャリア育成推進事業

○平成19～20年度 府立高等学校総合活性化事業

【主な事業】

- ・キャリアコーディネータ(アドバイザー)派遣事業

キャリアカウンセラーの資格をもつ民間企業経験者を府立高等学校に月14日派遣し、生徒のカウンセリングや教職員へのスーパーバイズを行う。

- ・キャリア・カウンセリング基礎講座の実施
- ・キャリア教育推進フォーラムの実施

- ・ 主な支援活動

5.教育委員会との連携事業

(2)大阪市教育委員会

- 平成11年度～ キッズマート
- 平成17～19年度 地域自律・民間活用型
キャリア教育事業※
- 平成19年度 理科実験教室プロジェクト
- 平成20～21年度 社会人講師活用型教育
支援プロジェクト

等

・地域総がかりでの連携体制の構築(一例)

社会人講師活用型教育支援プロジェクト



企業の現役社員・OBによる理科実験授業実施への取り組み

- 理科離れを防ぎ、理科に興味・関心をもつ子どもを育てよう！
- 理科の授業が社会や生活にどのようにつながっているのか実感しよう！
- 将来のものづくりを支える人材を育成しよう！

【経済産業省】

社会人講師活用型 教育支援プロジェクト

1. 特別講師の発掘
2. カリキュラムの作成
3. 教育界・産業界等関係機関の
ネットワークの構築等

【文部科学省】

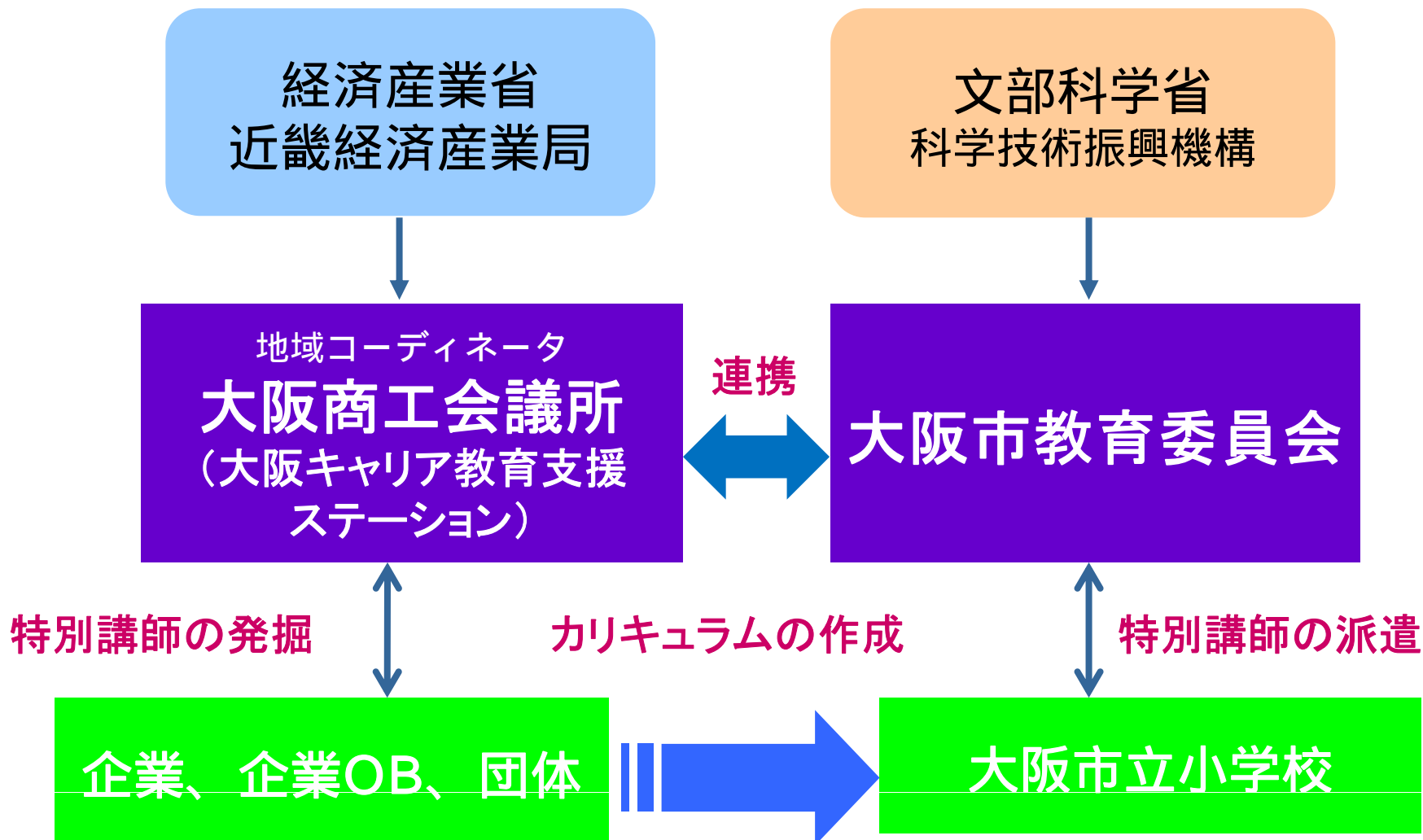
理科支援員等配置事業

1. 理科支援員の配置
2. 特別講師の派遣

地域総がかりでの連携体制の構築(一例)



社会人講師活用型教育支援プロジェクト



地域総がかりでの連携体制の構築(一例)

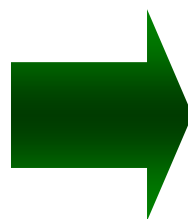


社会人講師活用型教育支援プロジェクト 理科大好き“なにわっ子”育成事業

大阪府教育委員会の担当コーディネータ(校長OB)と連携し、大阪府立小学校5、6年生の理科の授業に特別講師(企業現役社員、OB)を派遣し、「生きた理科実験授業」を提供する。

【平成19年度】

実施校数	44校 (のべ63校)
児童数	4,559名
協力企業・団体	13社2団体
実施単元	6単元



【平成20年度】

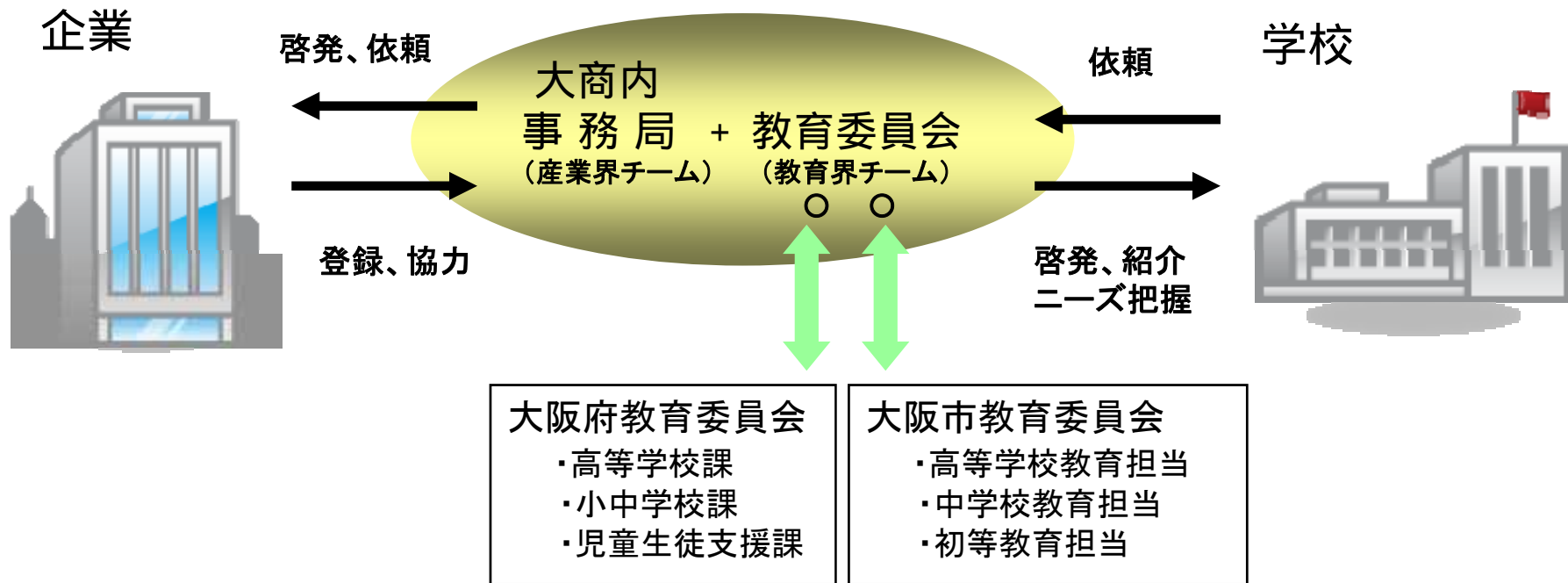
実施校数	67校 (のべ137校)
児童数	9,278名
協力企業・団体	21社3団体
実施単元	10単元

キャリア教育支援で培った教育委員会との連携体制をベースに、活動を拡大・充実させることが可能となった。

地域総がかりでの連携体制の構築

教育委員会との連携

大阪キャリア教育支援ステーション



大阪キャリア教育支援ステーション 連絡先

平成18年度 文部科学大臣賞受賞

大阪キャリア教育支援ステーション
(愛称：はたらこ・まなぼステーション)



〒540-0029

大阪府中央区本町橋2-8 大阪商工会議所ビル2F

TEL 06-6944-5385

FAX 06-6944-5386

<http://www.career-osaka.jp>